



Googleカレンダー
連携マニュアル

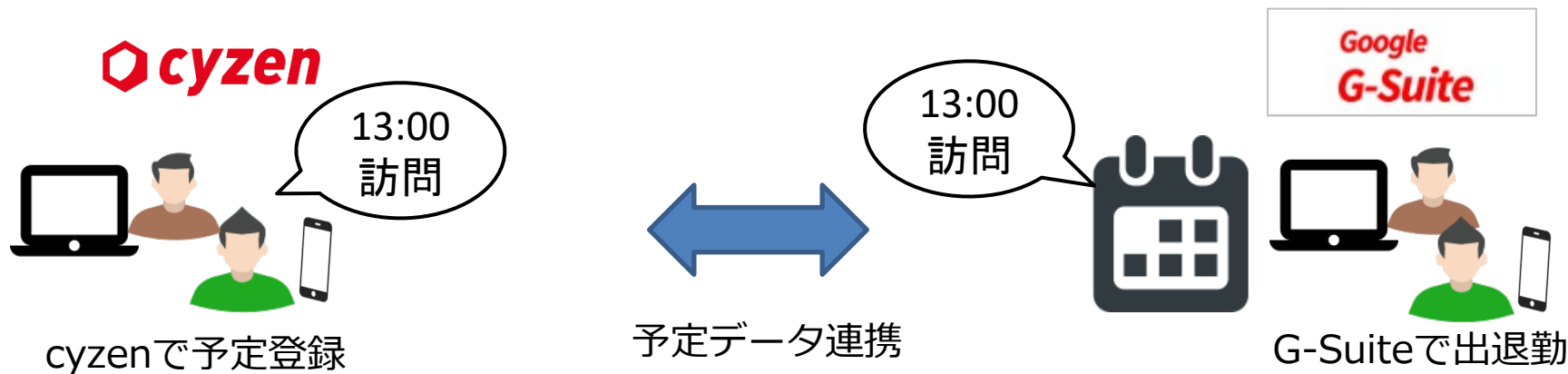
2020年9月

レッドフォックス株式会社

概要	3
ご利用の前に	4
設定方法：G-Suiteの設定	5
設定方法：連携機能を利用開始	14
設定方法：接続情報の設定	15
設定方法：接続情報の入力	16
設定方法：対象ユーザーを個別に指定	17
設定方法：対象ユーザーを一括で指定	18
連携内容	19
連携される項目	20
スポットについて	21
改定履歴	22

■ 連携機能について

当機能はcyzenとG-Suiteで予定データの連携ができる機能です。



連携することにより以下のような働き方が実現できます。



- 全社員でG-Suiteを利用。予定はG-Suiteで管理。
- 一部の営業スタッフはcyzenを利用。
- G-Suiteの予定がcyzenの地図上でそのまま見えるので、cyzenで出勤->訪問の活動がかんたん。
- cyzenで予定を調整した場合もG-Suiteに反映されるので、社内調整も問題なし。

■ 利用開始方法

- ・システム管理者が管理サイト上で当連携機能を「有効」にすることでご利用いただけます。

■ ご利用準備

- ・連携先サービスのシステム管理者のID,パスワードが必要になります。
- ・各サービスで連携許可設定を行う必要があります。詳しくはこちら
- ・連携対象のユーザーの設定を行う必要があります。詳しくはこちら

■ ご利用可能なバージョン

- ・Android: ver3.37.0 以降、OS6以上
- ・iOS: ver3.35.0 以降

■ ご利用可能なプラン

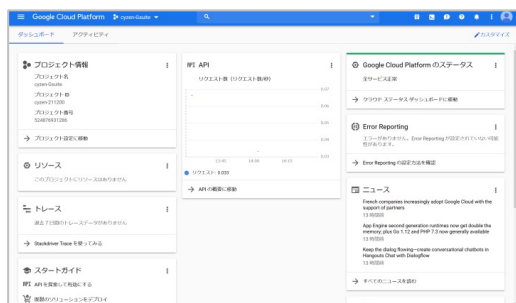
- ・すべてのプランでご利用いただけます。

■ 接続情報を取得する

はじめにGsuite上で連携の準備が必要となります。
以下の手順に沿って、準備を進めてください。

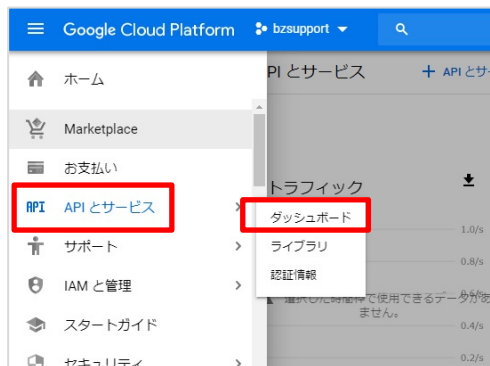
注意1:有償版のGSuiteのアカウントをご利用ください。
注意2:GSuiteの管理者アカウントで操作してください。

1. G-Suite管理コンソールにログインします。



<https://console.developers.google.com/apis/>

2. APIとサービスに移動します。



■ 接続情報を取得する

3. プロジェクトを作成します。



新しいプロジェクト

プロジェクト名 *

プロジェクト ID: automatic-bot-243600. 後で変更することはできません。 [編集](#)

組織 *

プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。

場所 * [参照](#)

親組織またはフォルダ

作成をクリック

4. ダッシュボードに移動し、作成したプロジェクトを選択します。



■ 連携に利用するAPIを有効にする

連携に必要なGSUITEのAPIを有効にします。

5. 「APIとサービスを有効化」をクリックします。



6. calendarAPIを有効にします。



■ 連携に利用するAPIを有効にする

7. Google People APIを有効にします。

peopleと入力

4件の結果

候補に表示される「Google People API」をクリック

有効にする

有効にするボタンをクリック

Detailed description: This block illustrates the process of enabling the Google People API. It starts with a search for 'people' in the API Library, showing search results. A callout points to the 'Google People API' entry. A second callout points to the '有効にする' (Enable) button on the API's detail page.

8. AdminSDKを有効にします。

adminと入力

9件の結果

候補に表示される「Admin SDK」をクリック

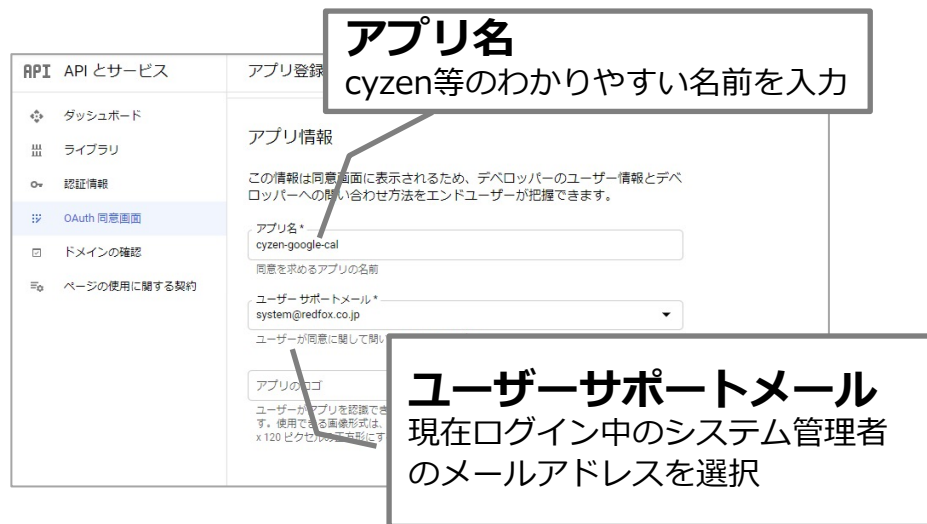
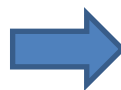
有効にする

有効にするボタンをクリック

Detailed description: This block illustrates the process of enabling the Admin SDK. It starts with a search for 'admin' in the API Library, showing search results. A callout points to the 'Admin SDK' entry. A second callout points to the '有効にする' (Enable) button on the API's detail page.

■ Client ID ・ API Keyを発行する

9. OAuth同意画面を設定します。



■ Client ID ・ API Keyを発行する

10. OAuth同意画面を設定します。

承認済みドメイン
cyzen.cloudと入力

デベロッパーの連絡先情報
現在ログイン中のシステム管理者のメールアドレスを選択

保存ボタンをクリック

11. OAuth同意画面 – スコープ、省略可能な情報、概要は何も設定せず、スキップします。

スコープ

API とサービス

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求め得る権限を表します。スコープを定義することで、アプリがユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートユーザーデータへのアクセスが可能になります。

ユーザーのメールや連絡先にアクセスできるようにするスコープなど、権限の無い (🔒) スコープが無制限の (🔓) スコープを無制限にする場合は、アプリを通じて権限行使を警告する必要があります。

保存して次へ キャンセル

クリック

省略可能な情報

API とサービス

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

省略可能な情報

過去に使用していた Google の連絡先の名刺カードは表示されません。

保存して次へ キャンセル

クリック

概要

API とサービス

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

ユーザーの権限

外部

アプリ名

関連ドキュメントへのリンク

指定されていません

ダッシュボードに戻る

クリック

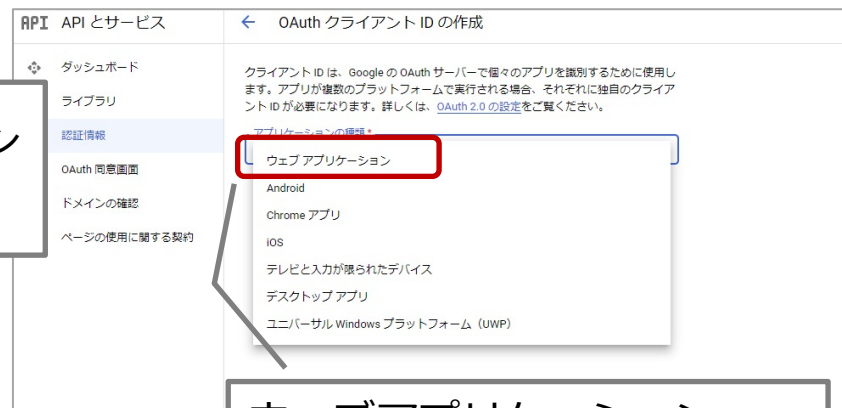
■ Client ID・API Keyを発行する

12. OAuth情報を作成します。



1～2の順にクリックし、認証画面作成を開始

OAuthクライアントIDをクリック



ウェブアプリケーションをクリック

■ OAuthクライアントの設定をする

13. 各項目を入力します。

Google Cloud Platform cyzen-schedule-demo

← OAuth クライアント ID の作成

OAuth 2.0 プロトコルを使用して Google API を呼び出すアプリケーションでは、OAuth 2.0 クライアント ID を使用してアクセス トークンを生成できます。このトークンには一意の識別子が含まれています。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

アプリケーションの種類

- ウェブ アプリケーション
- Android [詳細](#)
- Chrome アプリ [詳細](#)
- iOS [詳細](#)
- その他

名前

cyzen

制限事項

JavaScript 生成元とリダイレクト URI のどちらか、または両方を入力します。詳細

生成元とリダイレクトドメインは、[OAuth 同意設定](#)で承認済みドメインのリストに追加する必要があります。

承認済みの JavaScript 生成元

ブラウザからのリクエストで使用します。クライアントアプリケーションの生成元の URI です。ワイルドカード (https://*.example.com) やパス (https://example.com/subdir) を含めることはできません。非標準ポートを使用している場合は、それを生成元の URI に含める必要があります。

https://www.example.com

ドメインを入力し、Enter キーを押して追加します

承認済みのリダイレクト URI

ウェブサーバーからのリクエストで使用します。ユーザーが Google で認証されるとリダイレクトされる、アプリケーション内のパスです。パスにはアクセス用の承認コードが追加されます。プロトコルを含める必要があります。URL フラグメントや相対パスは使用できません。パブリック IP アドレスは指定できません。

https://center.cyzen.cloud/d/oauth/authenticate

ドメインを入力し、Enter キーを押して追加します

作成 キャンセル

名前
Cyzen等のわかりやすい名前を入力

承認済みのリダイレクトURL
「<https://center.cyzen.cloud/d/oauth/authenticate>」を入力してENTERキーをクリック

作成ボタンをクリック

■ OAuthクライアント情報（クライアントID, シークレット）を取得する

14. 認証情報を作成すると、OAuthクライアント情報が表示されます。



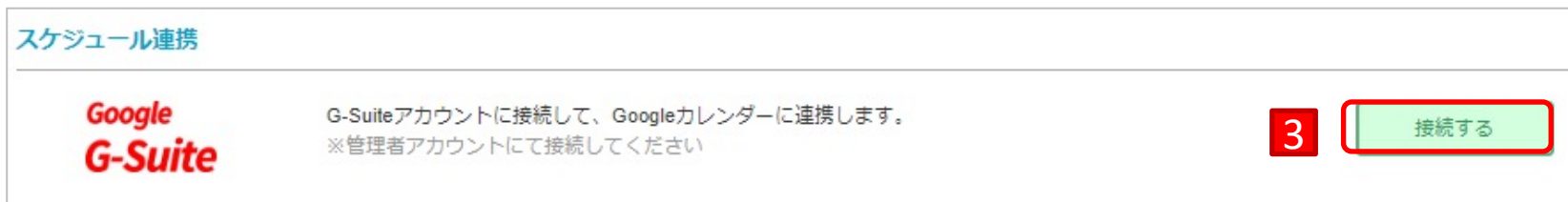
ここで取得したクライアントID,クライアントシークレットを
cyzenに入力します。

ここからcyzenでの操作手順となります。

1. 管理サイトメニューの「設定」をクリックし、画面左の連携設定のG Suiteをクリックします。



2. 「接続する」をクリックします。



■ 接続情報を設定する

連携するためには各カレンダーサービスの認証情報（鍵）をcyzenに設定する必要があります。

「接続する」をクリックすると設定画面が表示されます。



前述の手順で準備した認証情報を利用します。

■ 接続情報を入力する

前述の手順で取得した接続情報を入力します。

「接続する」をクリックします。

そのままGoogleのログインを行います

承認するをクリックします

これで設定完了です。

注意： 接続解除ボタンを押すと、関係が停止します。
再度連携する場合は、連携の設定：[G-Suiteの設定-5](#)の手順よりやり直してください。

■ 連携対象のユーザーを個別に指定する

G-Suiteのメールアドレスとcyzenのメールアドレスが一致していると連携可能です。

ユーザー編集画面から指定

ユーザー管理>ユーザー一覧>ユーザー詳細から編集画面に移動し、設定します。

The screenshot shows the 'ユーザー編集' (User Edit) page. On the left sidebar, there are options like '新規登録', '一括登録', '検索', and '条件を指定'. The main form contains fields for 'ユーザーコード', '名前', 'パスワード', 'メールアドレス', '所属グループ', '有効/無効', 'Web利用', and '連携サービス'. The '連携サービス' section has a checkbox labeled '外部サービスアカウントと連携する' which is currently unchecked. A red box highlights this checkbox.

当初は「外部サービスアカウントと連携する」にチェックが入っていません。チェックを入れて更新すると、このユーザーはG-Suiteと連携されます。

外部サービスアカウントと連携する



外部サービスアカウントと連携する

■ 連携対象外のユーザーを一括で指定する

ユーザー一括登録画面から指定

「ユーザー一括更新」機能により、外部サービスと連携するユーザーを一括で指定できます。

ユーザー一覧

ユーザー一覧画面の「一括登録」ボタンから

ユーザー一括登録画面

ユーザー一括登録

ステップ 1 / 3 : ユーザー一括登録

コンマ (,) で区切られたCSV形式のファイルを使ってユーザーを一括登録に使用するCSVについては下記の説明をご覧ください。
使用するCSVファイルを選択し、「次へ」ボタンを押すと取り込み項目の確認が完了します。

ユーザー一括登録用CSVファイル： 選択されていません

所属登録用CSVファイル： 選択されていません

※CSVファイルの書式についての説明

ユーザー一括登録に使用するCSVファイルは次のフォーマットに従って作成して下さい。

登録データ例

ユーザーコード	ユーザー名	ユーザーパスワード	メールアドレス	Web利用	無効フラグ	カレンダー連携
xxxx1	Name1	PASS1	xxxxx1@redfox.co.jp	1		1
xxxx2	Name2	PASS2	xxxxx2@redfox.co.jp	1		1
xxxx3	Name3	PASS3		0	1	

※ユーザーコード、ユーザー名、ユーザーパスワードは必須です。なお、メールアドレスを登録しない場合はCSV内のメールアドレス

CSVファイル作成画面の説明を読んで手順に沿って進めてください

カレンダー連携する・しないをユーザーごとにここで指定

cyzenの連携運用：予定連携の概要

- cyzenとG-Suiteそれぞれで作成・編集・削除した予定が相互に連携されます。
- 初回連携では設定した日以降すべての予定を連携します。

cyzen



注：この処理には時間がかかる場合があります。

Google
G-Suite



- 初回連携が終わると、それ以降5分に1回のペースで定期連携処理を行います。

cyzen



作成
編集
削除



作成
編集
削除



Google
G-Suite



予定の各項目は以下のように連携されます。

G-Suite

丸の内商事 プレゼン ①
7月5日(金曜日)・午後5:30~6:30 ②

東京都千代田区 ③

2人のゲスト
返答待ち: 2人

銀座 良子 ④
主催者

東京 太郎

3社のコンベになります。 ⑤

10分前

アプリケーションサポートアカウント

非公開 ⑥

この予定の詳細を変更しました。変更はこのカレンダーにのみ反映されます

cyzen

往訪 ⑦ 参加者のみに公開

丸の内商事 プレゼン ①

2019年7月5日(金) ② 17:30 ~ 2019年7月5日(金) 18:30

GMT+09:00 Asia/Tokyo

終日予定

自分に移動予定を追加する

なし 予定の前 予定の後ろ 予定の前後

15分 30分 1時間 1時間30分 2時間
2時間30分 3時間 3時間30分 4時間

参加者 編集

④

3社のコンベになります。 ⑤

登録者: 銀座 良子 登録日時: 2019-07-05 12:09
更新者: 東京 太郎 更新日時: 2019-08-09 11:37

削除 予定を複製

⑥ 場所 参加者

東京都千代田区 ③
東京都千代田区

⑧

レドフォックス株式会社 ×
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビル21階

顧客担当者 編集

データがありません

キャンセル 保存

	G-suite	cyzen	備考
①タイトル	○	○	
②日時	○	○	
③場所	○	○	場所名で地図検索した結果が連携されます
④参加者	○	○	・ cyzenに存在しないユーザーはメールアドレスで表示されます。 ・ Gsuiteに存在しないユーザーは参加者に含まれません。
⑤内容	○	○	
⑥公開/非公開	○	○	
⑦予定種別		○	Gsuiteには連携されません。
⑧スポット		○	Gsuiteには連携されません。

予定の項目のうち「場所」については、以下のように連携します。



cyzenで作成した予定を連携



Google
G-Suite

cyzenで作成した予定に含まれる「スポット」の項目は、各スケジュールアプリの「場所」の項目に入ります。

アプリイメージ



他のスケジュールアプリで作成した予定をサイゼンに連携



各スケジュールアプリで作成した予定のタイトルに会社名や地名が含まれていれば、cyzenアプリ内で「場所を追加」と表示され、予定にスポット情報を追加するアクションを促します。

日付	変更内容	備考
2019/8	新規作成	
2020/9	設定画面を一部修正	



サービス提供元

レッドフォックス株式会社

東京都中央区銀座三丁目4番1号 大倉別館5階

<https://www.cyzen.cloud>

レッドフォックス 株式会社 カスタマーサポート

.Email:cyzen-support@redfox.co.jp

cyzenはレッドフォックス株式会社の商標です。